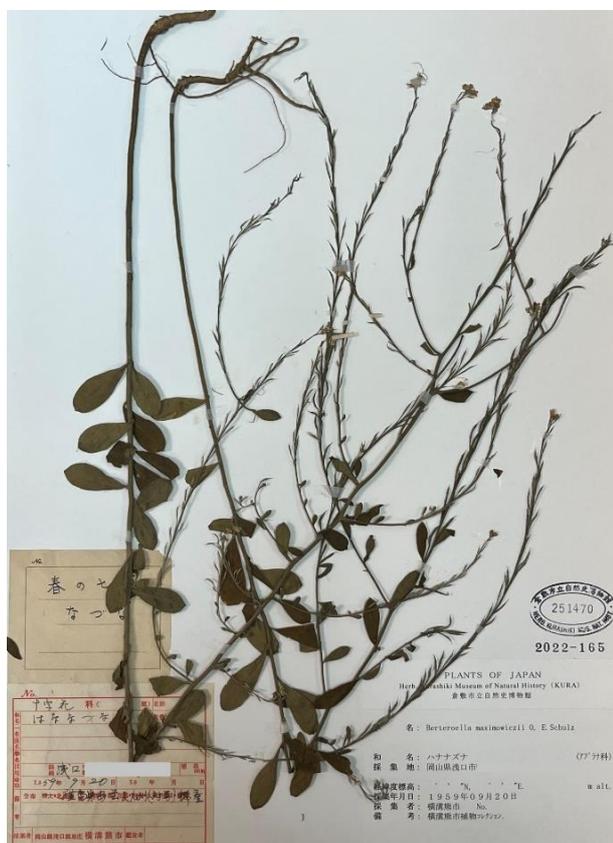


パオちゃん's EYE

2024年2月1日 発行 No.83

ハナナズナ(花薺)

植物にくわしい方でも、この花のことはご存じないかもしれません。**ハナナズナ *Stevenia maximowiczii* (Palib.) D.A.German et Al-Shehbaz** はアブラナ科ハナナズナ属の草本で、日本と朝鮮半島、中国に分布します。名前は、春の七草の一つのナズナ(薺)に似て、それよりも美しい花を咲かすことに由来します。



現在、日本国内でハナナズナが確実に見られるのは長崎県の対馬(つしま)だけであり、対馬においても減少しています。環境省レッドリストでは絶滅危惧IA類(CR)に位置づけられ、絶滅寸前といえる状況です。

ハナナズナは、かつては岡山県にも分布していました。左写真は当館に収蔵している岡山県産の標本で、1959年9月に今の浅口市にて、横溝熊市氏(1897~1977)が採ったものです。これ以降の採集例はなく、県内から絶滅したと考えられています。

標本を採取した横溝熊市氏は里庄町の出身で、薬種商を営みながら植物を研究しました。氏が集めた植物標本コレクションは、現在倉敷市立自然史博物館に収蔵・保管されています。ハナナズナの他にも岡山県内外のさまざまな植物を含む、貴重な資料です。

今回紹介したハナナズナや以前(パオちゃん's EYEのNo.79)紹介したヒゴタイをはじめ、何種類もの植物が岡山県から絶滅し、標本を残すだけとなっています。これらの植物の再発見を期待するとともに、今生きている植物たちが姿を消さないことを祈ります。

鐵 慎太郎(植物担当)

パオちゃん's EYEに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp



「パオちゃん's EYE」
は博物館ホームページでカラーで見られるよ!

